

第二回検討委員会の意見まとめ

項目	主な意見	対応
施設再整備の目的等について	<p>複数のプロジェクトの連携によって交流人口の増加を目指す考え方に同意である。</p> <p>静岡市は夜間交流人口が低く、夜間交流人口の増加が重要であると考えている。市内での宿泊の有無によってまちなかで消費される金額が大幅に変わってくるため、夜間興行の増加にも期待している。</p> <p>夜間交流人口を増加させるための機能や空間に関する検証が必要だと感じる。</p> <p>市民文化会館の現在の稼働率は非常に高く、現在と同じ規模のホールの再整備だけではさらなる交流人口の増加にはつながりにくいため、アリーナ等の現在よりも大規模な集客機能に期待している。</p> <p>開催地周辺にインバウンド効果を波及させるための取組みが重要である。</p> <p>人口流出は問題であると感じている。どうすれば静岡に残ってくれるのか、どうしたら静岡のまちにプライドを持ってくれるのかという観点から、「静岡はいろいろな人やことが集まる場所だ」と思ってもらえるシンボリックな場所に変えていきたい。</p> <p>交流人口増加のターゲットが、地域の人か、市外からの来街者かについても整理を行った上で議論を行う必要があるだろう。</p> <p>大きなイベントを開催できることで、地域内外どちらについても、交流人口の増加を目指せるのではないかと考えている。</p> <p>中途半端な施設では、プロモーターに選ばれず、著名アーティストを呼べない可能性がある。市としてどのようなアーティストを呼べると考えているのか、それが市民ニーズに応えられるものなのかを示していただかないと、アリーナの導入には賛成できない。</p>	整備方針の中での記述方法等を検討
施設計画案、検討ケースの評価について	<p>アリーナの機能・スペックについて</p> <p>Bリーグアリーナ検査要項の2018-2019シーズン版用を確認いただきたい。また、検査要項以外の運営上必要な機能としては、30～50名程度のボランティアスペース、運営本部スペース、演者の控室があるが、ケース2、3はそのスペースが小さい。コンサートを開催する場合は、更にその大きさは必要となる。</p> <p>物資の搬入は、Bリーグの試合開催時には10tトラック2台、音楽イベント時には10tトラック10台程度で行われる。</p> <p>会場全体が一体となって盛り上がるのができるのはロの字型の客席配置なので、スポーツ興行時はステージ部分に客席を設置することも考えられる。</p> <p>コの字形の客席配置はアリーナとして成立するのか。スポーツ用のアリーナは、やはりコートを360度囲うロの字型の客席配置が好ましいのではないかと。</p> <p>ホール機能・スペックについて</p> <p>ケース1、2は、ホールの使い勝手が現状よりも悪くなる。現在の中ホールの舞台の幅や奥行き、舞台の袖の広さ、楽屋の廊下も含めた広さはとても使いやすいと多くの劇団から聞いている。再整備後も現在と同等の広さを確保していただきたい。</p> <p>楽屋が2階にあるのは非常に使い勝手が悪い。楽屋は舞台と同じフロアに配置すべきものと思う。</p> <p>現在、休憩時には女性用トイレに長蛇の列ができるため、男性用トイレを解放する運営上の工夫を行っている。トイレスペース確保への配慮が必要であり、施設規模は縮小しないことが望ましい。</p> <p>ステージ幅の不足等の機能面の課題が残る計画となっている。ケース3は2,000席のホールは不要という案に近い。ケース1、2の大ホールは、舞台袖が狭い。昨今のホール事例と比較しても、これほど舞台等が狭いものはない。舞台転換ができないため演目が非常に限定的となる。</p> <p>論点1 景観／ボリュームについて</p> <p>緑道を廃止する必要のある案は、景観の観点からは好ましくないと考えている。大きなボリュームを持つ施設が計画地の狭いスペースに配置されることに対しても、景観の観点から好ましくない。</p> <p>論点2 交流人口増加／回遊性向上／まちなか活性化について</p> <p>地元の日常利用の創出は、交流人口の増加に対するインパクトが大きい。</p> <p>静岡市民文化会館の稼働率について、催事種類別の稼働率を教えてください。</p> <p>論点4 交通アクセス／駐車場について</p> <p>市場調査の際に、交通上の課題について確認してほしい。</p> <p>計画地から離れた場所に新規の駐車場を確保し、駐車場と計画地をシャトルバスでつなぐことも考えられる。公共交通を使ってもらうことが重要である。</p> <p>論点6 休館期間について</p> <p>4年半も市民文化会館を利用できないことは、大きな課題である。中ホールを先行整備するなどして、休館期間を縮小する工夫を行ってほしい。</p> <p>全般的な評価について</p> <p>計画地に本当に求められる施設のスペックを明確にしておかなければ、議論の軸も明確にならないのではないかと。中途半端な施設を整備することは避けるべきなので、アリーナとしての評価と劇場としての評価の2つの観点からの議論が必要だと感じる。</p> <p>アリーナ、大ホール、中ホールの3施設全てを計画地に収めることは難しいように感じるので、必要な機能の選択が重要となる。</p> <p>アリーナ、大ホール、中ホールの全てを十分なスペックで計画することが難しい場合には、まちづくりの視点から、どのような観点でどの機能を選択するか検討が必要になるだろう。</p> <p>課題はあるものの、アリーナ機能の導入に賛成である。アリーナ機能の導入ありきで、そのために削る必要があるものは何かという方針で検討を行ってほしい。</p>	<p>本日の「資料3 施設計画(案)」、「資料4 検討ケースの評価」参照</p> <p>本日の「参考資料3 市民文化会館で開催されている催事の整理」参照</p> <p>本日の「資料2 市場調査結果のまとめ」、「資料4 検討ケースの評価」参照</p> <p>本日の「資料3 施設計画(案)」、「資料4 検討ケースの評価」参照</p>